

仲間とのコミュニケーションが大切。頑張る新米漁師

諫早湾漁業協同組合 鶴田 英治さん 37歳

漁業暦 1年

鶴田さんは、小型定置網漁業とカキ養殖業を営まれています。

鶴田さんは、三代続く漁家の出身。公認会計士を目指し、大学に進学しましたが、残念ながら会計士の夢は叶わず、愛知県にあるアパレル関係の会社へ就職しました。会社では地域マネージャーなどを務め、収入など待遇の面で不満はなかったそうですが、仕事へのやりがいを感じられなくなり、平成二十一年に会社を退職し、地元に戻り、佐賀県の会社に勤め、帰郷後は、しばらく佐賀県の会社に勤めていましたが、知人からの勧めで漁協の直売所で働くようになり、地域漁業のことに、漁業者のことが少しづつ分かるようになり、漁業は努力次第で収入を上げられる魅力的な仕事と考え、令和二年から二年間、県の漁業研修を受けた後、令和四年八月から漁業に就業しました。現在は、父親のもとで小型定置網やカキ養殖の手伝いをしていますが、ようやく一人前の仕事ができるようになったというところで、父親から事業の承継を受け、近々、漁業経営者として独立される予定となっています。



鶴田 英治さん

経歴

21歳

県外の会社に就職

愛知県のアパレル関係の会社に就職。マネージャー等として多忙な日々を送る。

23歳

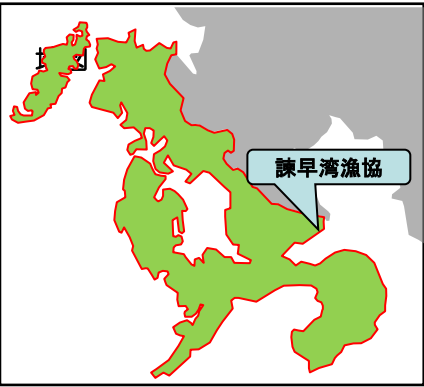
地元に戻り

仕事へのやりがいを感じられなくなり、会社を退職。地元に戻り。

36歳

漁業研修を経て、漁業就業

2年間の漁業研修終了後、父親のもとで漁業就業。



鶴田さんの一日

小型定置網

起床・身支度	5:00	○小型定置網の操業 朝6時に出港。港から漁場までの時間は約10分。定置網に入った魚を取り上げた後、7時に帰港。港に戻ってから魚の選別、箱詰めなどの出荷作業を行います。 獲れた魚は、近くの魚市場や漁協直売所に出荷します。
朝食		
出港・取り上げ	6:00	
帰港・出荷作業	7:00	○海上又は陸上作業 出荷が終了した後、海上で養殖カキの手入れ作業や陸上で定置網の修理などを行います。 定置網は、網が汚れると魚が獲れなくなるので、春は2週間ごと、秋は1ヶ月ごとに網の入れ替え作業を行います。
選別、箱詰め、運送	7:00	
海上又は陸上作業	8:00	
カキ手入れ、網修理		※定置網漁業について イカリなどを使って魚の通り道（魚道）に相当の期間にわたり漁具を設置して、網に入った魚を獲る漁法。漁具を設置する水深によって大型定置網と小型定置網に分けられます。 鶴田さんの定置網は、水深の浅い漁場に設置される小型定置網で、コンシロ、イシモチ、スズキ等様々な魚が獲れます。
昼食	12:00	
海上又は陸上作業	13:00	
(続き)		
帰宅	17:00	
夕食	18:00	
入浴	19:00	
自由時間	19:30	
就寝	21:00	

カキ養殖

起床・身支度	6:00	○カキの養殖 5月頃にカキ種苗が付いたコレクター（ホタテ貝殻）10～15枚を5～7mのロープにはさみ込み、沖の養殖イカダから垂下します。
朝食		
出港・海上作業	7:00	
カキ脱貝、水洗い		○海上作業 11月頃に船上でロープからカキとコレクターを取り外し（脱貝・洗浄）、カキに付着したフジツボなどを掃除した後、丸カゴに移し替え、出荷まで養殖イカダから垂下します（養成）。 出荷は、12月頃から始まり、鶴田さんは1日に約100kgのカキを漁協に出荷します。
貝掃除（手作業）	10:00	
フジツボ落とし		
昼食（船上）	12:00	※カキ養殖について 海上のイカダからカキ種苗の付いたコレクターをつり下げる養殖のほか、干潟に杭を立ててケーブルを張り、それにカキ種苗（シングルシード）の入ったバスケット（プラスチック製の円筒状のカゴ）をつり下げる養殖が行われています。
海上作業（続き）	13:00	
丸カゴに入れて垂下		
帰港	15:00	
帰宅	16:00	
夕食	17:00	
入浴	17:30	
自由時間	18:00	
就寝	21:00	

年間操業スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小型定置網				←→					←→			
カキ養殖	→											←

※7～8月
クラグすくい網
（雇われ）

漁業以外の活動の様子



小学生の漁業体験



イワガキの養殖

漁協青壮年部の活動

青壮年部では、毎年地元の小学生を招いて、カキ養殖の漁業体験を行っています。また、新たな養殖としてイワガキの養殖にチャレンジしています。鶴田さんも漁協青壮年部の活動には積極的に参加し、仲間とのコミュニケーションを大切にしています。

家族(母)の声

定置網や養殖の仕事を一人でできるようになり、喜んでます。主人のあとを継ぎ、今度漁協の組合員にもなりますので、自分の家族を養うため、しっかり頑張ってほしいと思います。

漁業就業を目指す方へ

漁業は、自然相手の仕事なので、好不漁の波はありますが、努力次第で自分の思うような収入を上げることができます。海が好きな人にとっては、まさに天職。魅力的な仕事ではないでしょうか。農業と違い、漁業は個々の仕事のイメージがありますが、漁協の青壮年部に入り、仲間からいろんなことを教えてもらっています。ヨコの繋がりが、仲間とのコミュニケーションは大切だと思います。

鶴田さんの本音チャート

